



Since 1877

令和7年度
第3回
貴重資料展示

学習院大学図書館所蔵古典籍 『江戸名所図会』



本学所蔵の版は「表紙は縹色・文様は布目地に亀甲繫ぎ」です

学習院大学図書館

はじめに

『江戸名所図会』とは

今回の展示資料『江戸名所図会』は、7 巻 20 冊で構成された多巻物であり、整版本（1 枚の板などに彫って作った印刷版）で出版された、江戸とその近郊の神社・仏閣、名所古跡の沿革と現状を収めた絵入りの名所地誌です。1834（天保 5）年～1836（天保 7）年に江戸で刊行されました。記事はすべて実地調査に基づくものであり、史料的价值が高いものです。長谷川雪旦の絵も実地の写生に基づく精緻な描写であり、江戸時代後期である文化・文政期（1804～30）、天保期（1830～44）にかけての景観や風俗、行事を知る史料とされています。江戸時代のガイドブックとも言える貴重な資料をぜひご観覧ください。



2027 年 学習院は創立 150 周年を迎えます

○父子三代にわたる編集作業

『江戸名所図会』第20冊跋文⁽¹⁾の前に、以下の名前を確認することができます（写真1）。

- | | |
|-----|----------------|
| ・編集 | 松濤軒齋藤長秋（刻印2） |
| ・校正 | 男 藤原縣麻呂（刻印2） |
| ・全 | 縣麻呂男 月岑幸成（刻印2） |

齋藤氏は江戸神田雉子（きじ）町の名主であり、長秋（ちょうしゅう）こと齋藤幸雄（1737-1799）は、寛政年間（1789-1801）に江戸府内や近郊の実地調査をして『江戸名所図会』の原稿を執筆しました。寛政10（1798）年には幕府の出版許可を受けましたが、刊行できませんでした。その息子である縣麻呂（あがたまろ）こと齋藤幸孝（1772-1818）は長秋の次男であり、父の残した草稿に手をくわえ、江戸近郊部分を増補しましたが、こちらも刊行にはいたりませんでした。縣麻呂の四男である月岑（げっしん）こと齋藤幸成（1804-1878）は、祖父と父の遺志をついで草稿に校訂を加えて完成させ、天保5（1834）年の正月に3巻10冊を、天保7（1836）年の正月に4巻10冊を刊行しました。父子三代、30年以上の年月をかけた事業は、孫の月岑により達成されました。

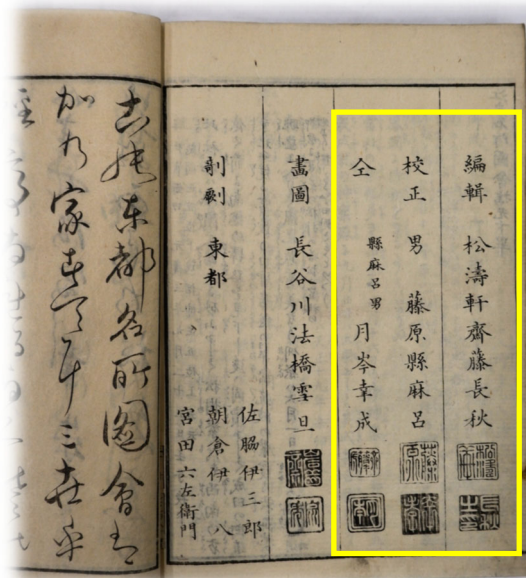


写真1

注

(1) ばつ - ぶん 書物の、本文のあとに書く文章。跋（ばつ）。あとがき。

“跋文”， 日本国語大辞典. SHOGAKUKAN.

<https://japanknowledge.com/library/>, （参照 2025-11-18）

○『江戸名所図会』について

展示資料名：江戸名所圖會^{※1)}（えどめいしよずえ）

巻 冊：7 巻 20 冊

別書名：（見返し）東都名所図会（とうとめいしよずえ）
（題簽）江戸名所図會（えどめいしよずえ）

出版年：1834（天保5）年～1836（天保7年）

編 輯：松濤軒齋藤長秋（齋藤幸雄）

図 画：長谷川雪旦

版 元：須原屋茂兵衛，須原屋伊八〔ほか〕

大きさ：25×18 cm

本 文：和文 平仮名漢字交じり 振り仮名あり

※1) 巻首題がないため目首を書名とした。

『江戸名所図会』の構成と主な収録地域

江戸名所圖會巻之一	天枢之部	1-3 冊 ^{※2)}	日本橋、増上寺、芝浦 など
江戸名所圖會巻之二	天璇之部	4-6 冊	品川、大森、六浦 など
江戸名所圖會巻之三	天璣之部	7-10 冊	麻布、渋谷、府中 など
江戸名所圖會巻之四	天権之部	11-13 冊	市谷、中野、雑司ヶ谷 など
江戸名所圖會巻之五	玉衡之部	14-15 冊	上野、日暮里、豊島 など
江戸名所圖會巻之六	開陽之部	16-17 冊	浅草、下谷、根岸 など
江戸名所圖會巻之七	摇光之部	18-20 冊	深川、亀戸、隅田川 など

※2) 学習院大学図書館は第2冊を所蔵していません（欠号）。

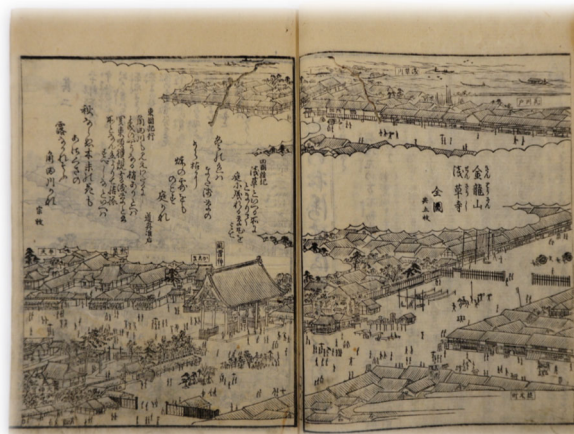
学習院大学の周辺では「目白不動堂^{※3)}」「雑司谷（雑司ヶ谷）鬼子母神堂」「目白下大洗堰」「高田馬場」などが紹介されています。いずれも目白キャンパスから歩いて訪れることができます。

※3) 目白不動尊は関口台町にありましたが、第二次世界大戦の戦火で堂が消失し、戦後「金乗院」に移されましたので、「江戸名所図会」に描かれている場所とは異なります。

○『江戸名所図会』で紹介されている主な名所
(カッコ内は現在の所在地)



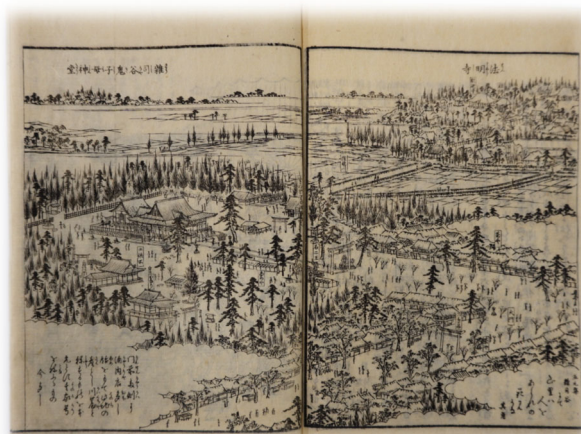
日本橋（東京都中央区）



金龍山浅草寺（東京都台東区）



目白不動堂（東京都豊島区）



雑司谷鬼子母神堂（東京都豊島区）



目白下大洗堰（東京都文京区）



高田馬場（東京都新宿区）

おわりに

学習院大学デジタルライブラリーでは、貴重書をオンラインで閲覧できます。

■ 学習院大学デジタルライブラリー

<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



< 参考文献 >

- ・[斎藤幸雄ほか著]；市古夏生，鈴木健一校訂．江戸名所図会．1-6．新訂，東京，筑摩書房，1996-1997，（ちくま学芸文庫，エ-1-1-6）．
- ・[斎藤長秋編]；鈴木棠三，朝倉治彦校註．江戸名所図会．6．東京，角川書店，1968，489p．（角川文庫，2450）．
- ・丸山伸彦編．日本史色彩事典．東京，吉川弘文館，2012，416p．
- ・小川剛生，中野真麻理編．表紙文様集成．東京，国文学研究資料館，2004，116p．（調査研究報告，第25号別冊）．
＊PDF版（<https://www.nijl.ac.jp/pages/images/hyousimonyou.pdf>）
- ・井上隆明著．近世書林板元總覧．改訂増補，武蔵村山，青裳堂書店，1998，920p．（日本書誌学大系，76）．

- ・水江漣子．“江戸名所図会”．日本大百科全書（ニッポニカ）．SHOGAKUKAN，
<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．
- ・村井益男．“江戸名所図会”．国史大辞典．Yoshikawa Kobunkan，
<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．
- ・“斎藤長秋”．日本人名大辞典．Kodansha，<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．
- ・“斎藤県麿”．日本人名大辞典．Kodansha，<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．
- ・水江漣子．“斎藤月岑”．日本大百科全書（ニッポニカ）．SHOGAKUKAN，
<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．
- ・西山松之助．“斎藤月岑”．国史大辞典．Yoshikawa Kobunkan，
<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．
- ・今田洋三．“須原屋茂兵衛”．国史大辞典．Yoshikawa Kobunkan，
<https://japanknowledge.com/library/>，（参照 2025-11-18）．

- ・入口敦志．“江戸名所図会”．国文研千年の旅．
<https://www.nijl.ac.jp/koten/kokubun1000/1000iriguchi2.html>，（参照 2025-11-18）．

「学習院大学図書館所蔵古典籍『江戸名所図会』」

発行日：令和 7 年 11 月 20 日

発行者：学習院大学図書館



2027 年 学習院は創立 150 周年を迎えます